

仕様書

NEDO 再生可能エネルギー部

1. 件名

再生可能エネルギー分野における産業構造の可視化等に関する調査

2. 目的

NEDO 再生可能エネルギー部では、2050 年のカーボンニュートラル実現を目指し、再生可能エネルギー（以下「再エネ」）技術の事業化に向けた研究開発を推進している。これらの取り組みを加速させるためには、各再エネ分野に関係する事業者・研究機関等（以下「プレイヤー」）の新規参入・連携強化が求められることから、これらのプレイヤーのリスト・データ化の整備・拡充が不可欠である。

本調査では、各再エネ分野における産業構造を体系的に把握するため、機能別に分類し（以下「機能カテゴリー」、例：企画・調査、製造・販売、建設、発電、O&M 等）、各機能カテゴリーに属する主要プレイヤーのリストアップを行い、産業構造マップを作成する。これらの成果物は、研究開発から事業化に向けた課題抽出（サプライチェーン上のボトルネックなど）の一助とするとともに、NEDO が主催する各種イベント、ビジネスマッチングでの活用を通じ、プロジェクトの実用化・事業化の促進を図ることを目的とする。

3. 業務内容

(1) 産業構造マップの作成

各再エネ分野の産業構造全体を可視化するため産業構造マップを作成する。

調査対象分野は以下の 5 分野とする（括弧内は必須項目）：

- 太陽光発電（次世代型太陽電池）
- 風力発電（洋上風力）
- バイオマス発電（木質バイオマス）
- 地熱発電
- バイオマス燃料（持続可能な航空燃料）

上記に加え、必要に応じて重要度の高い分野・項目を追加することも可能とする。

(1-1) 機能カテゴリーの分類

(1)のマップ作成にあたり、対象分野について機能カテゴリー（例：企画・調査、製造、販売・建設、発電、O&M 等）に分類し、可視化（マップ化）を行う。

(1-2) プレイヤーリストの作成

1-1.で設定した各分野の機能カテゴリーに基づき、それらのサプライチェーンを構成するプレイヤーを網羅的にマッピングする。なお、マッピングにあたっては、以下の観点を盛り込むこと。また、文献調査やヒアリング等を通じて、より効果的な手法を追加することも可能とする。

- 各機能カテゴリーにおける現状のプレイヤーのリストアップ及び不足・不在領域の特定
- 新規参入の見込める企業やNEDO事業未参画の有望プレイヤーのリストアップとそれらの可能性のある機能カテゴリーの特定

(2) 進捗報告等

上記の実施内容について、NEDO との定例会議（1~2 回/月程度）で進捗状況の報告を行い、今後の方針を確認しながら進めることとする。

4. 調査期間

NEDO が指定する日から 2026 年 3 月 31 日まで

5. 予算上限

20 百万円（税込）以内

6. 成果物

提出物：成果報告書（電子ファイル）

提出期限：2026 年 3 月 31 日

提出方法：NEDO「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に準拠

(<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>)

7. 報告会等の開催

委託期間中または委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

8. その他

本仕様書に記載のない事項については、NEDO と受託者間で協議の上、適宜決定する。

以上